

<p>3</p> <p>(24ヶ月間)</p>	<p>部署間での会議数が増加傾向にある中で各会議を円滑に実施できるようにすることを目的として会議室予約システムを改修システムを更新し操作を簡略化することで予約作業の手間を省くことが可能となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> PythonのフレームワークであるDjangoを使用してシステムを再構築。Pythonプログラムの情報をhtml側へ受け渡すように既存プログラムを改修し予約情報の入力フォームをPythonとhtmlで作成。 予約日時と空室状況を確認するためのカレンダー機能をPythonプログラムの2次元配列で作成。入力フォームの情報がカレンダーへ反映されているか確認。 ネットワーク周りをAWS化するためEC2インスタンス生成、Route53の設定を実施。 改修後のシステムをEC2へデプロイ。EC2上で問題なく動作しているか確認。 ・・・etc 	<p>チーム 15名 全体 20名</p>	<p>Python HTML CSS JavaScript</p>	<p>Linux Windows</p>	<p>windows</p>	<p>Git GitHub Django Flask MySQL PyCharm VisualStudioCord</p>	<p>- ● ● ● ● ●</p>
<p>4</p> <p>2020年4月 - 2022年3月</p> <p>(24ヶ月間)</p>	<p>■ 勤怠管理ボットの新規開発</p> <p>【プロジェクト概要】 勤怠管理ボットの新規開発</p> <p>【担当フェーズ】 基本設計・詳細設定・開発・単体テスト・結合テスト</p> <p>【担当業務】 Pythonプログラム作成及びコーディング</p> <ul style="list-style-type: none"> LINEボット環境構築 動作確認 <p>【実績・取り組み】 打刻忘れの修正処理といった勤怠管理業務の負荷軽減を目的として、勤怠管理ボットを開発。ボット導入前約30%だった打刻忘れは約10%まで削減。業務の負荷軽減に繋げることに成功。</p> <ul style="list-style-type: none"> APIキーを使用してボットと端末を繋げる方法を考案。端末上でボットを操作するための基盤Pythonプログラムを作成。 各社員に振り分けたAPIキーを変数化して組み込むようPythonプログラムを更新。端末上でボットが正常に動作するか確認。 LINEボットからメッセージで「出勤」「退勤」の入力と送信をする事で社員用のエクセルスプレッドシートへ入力時間が自動反映されるようPythonプログラムを更新。 LINEボットとエクセルスプレッドシートの互換性に問題がないか確認 ・・・etc 	<p>PG</p> <p>チーム 10名 全体 15名</p>	<p>Python</p>	<p>Windows</p>	<p>windows</p>	<p>Git GitHub LineDevelopers VisualStudioCode</p>	<p>- ● ● ● ● ●</p>